

## TAMAにおける産学・産産連携による研究開発の促進について

広域多摩地域(略称TAMA)には研究開発型中小企業と大学が多く立地し、産学連携や産産連携で新製品、新事業を生み出していることから経済産業省の産業クラスター計画のモデル地域といわれてきました。

社団法人首都圏産業活性化協会(TAMA協会)とタマティーエルオー株式会社(TAMA-TLO)はこの地域の長期的な産業振興と大学の活性化を進めるため、連携して研究開発促進事業を行なうことになりました。

1. TAMA協会の、「産学・産産連携による研究開発の促進」を担当する理事グループが研究開発促進事業の方針決定、およびその運営を監督します。
2. 研究開発促進事業はTAMA協会事務局職員、TAMA-TLO社員、TAMAコーディネータにより幅広く長期におこないます。このため、TAMA協会は平成18年度の研究開発促進事業の予算から、おもに新製品の開発フェーズに関する業務をTAMA-TLOに委託します。
3. 委託業務内容は大学訪問、会員企業訪問によるシーズ・ニーズ収集に始まり、公的助成金による研究開発テーマへの提案、研究開発後の製品化支援とし、理事グループの承認する年間計画にもとづいておこないます。

産業クラスター・プロジェクト名 **TAMA協会**

(社)TAMA協会  
会員企業360社の  
会員大学40校

目標:  
会員企業の新製品、  
新事業による売上増大

会員サービス向上

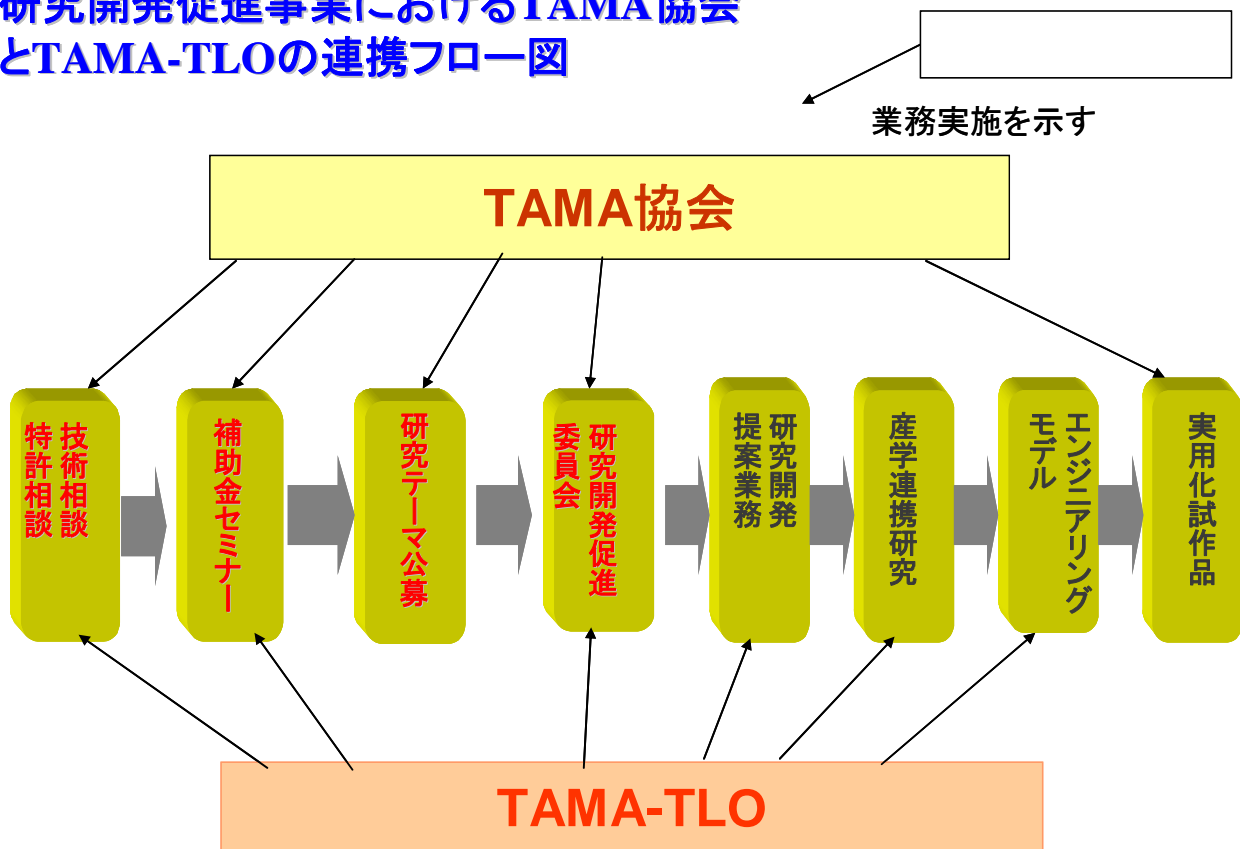
TAMA-TLO(株)  
連携大学16校  
会員企業11社  
友好会員企業360社

目標:  
技術移転、産学連携研究  
による新製品開発

ロイヤリティー収入

**研究開発促進事業における  
お互いの有機的な連携・マッチング!**

# 研究開発促進事業におけるTAMA協会 とTAMA-TLOの連携フロー図



## TAMA-TLOの研究開発促進事業内容とその成果物

### 1. 産学連携・特許アドバイザー事業

相模原市、狭山市の企業訪問による技術相談。 成果物：業務報告書 50 通

### 2. 研究開発促進事業

TAMA協会から提供された技術ニーズの評価。研究開発促進委員会での研究開発テーマの技術評価。 成果物：技術評価報告書 50 通

### 3. 大学等研究シーズ及び研究者調査事業

TAMAの産業振興に関心があり、産業界に有用な技術シーズを持つ大学研究者 20 名を TAMA-TLOが選出し、この内 5 名の方に会員向け各 1 回、5 名の方にミニTAMA会での話題提供スピーチ各 1 回をお願いする。

成果物：研究者 20 名選出、技術講演会 5 回、ミニTAMA会スピーチ 5 回

### 4. 研究開発コーディネータ事業

公的資金による産学連携研究テーマ選定、メンバー編成等提案書作成前の打合せやヒアリングにかかわる業務、また科学技術振興機構のシーズ発掘試験の提案書作成にかかわる業務。 成果物：産学連携構築のための調整 20 回、1 件当たり 1 通の報告書

### 5. 羽村市商工会及び青梅商工会議所からの委託事業

平成 18 年スタートした青梅クラスター事業支援のため、毎月 1 回の羽村オフィスでの技術相談、青梅、羽村市内企業訪問による技術相談。 成果物：技術相談報告書 30 通

## 公的資金による産学官連携研究開発事業の応募例

TAMAにおける産学・産産連携による研究開発の促進事業では、業務委託により種々の産学官連携研究の企画が可能となります。

- |                       |   |
|-----------------------|---|
| 経済産業省関係               | <ul style="list-style-type: none"><li>○ 地域新生コンソーシアム研究開発事業</li><li>○ 中小企業・ベンチャー挑戦事業</li></ul>  |
| 中小企業基盤整備機構            | <ul style="list-style-type: none"><li>○ 戦略的基盤技術高度化支援事業</li></ul>  |
| 新エネルギー・産業技術開発機構(NEDO) | <ul style="list-style-type: none"><li>○ 大学発事業創出実用化研究開発事業</li><li>○ 産業技術実用化開発助成事業</li><li>○ 次世代戦略技術実用化開発助成事業</li></ul>                                       |
| 科学技術振興機構(JST)         | <ul style="list-style-type: none"><li>○ シーズ発掘試験事業</li><li>○ 産学共同シーズイノベーション化事業</li><li>○ 先端計測・分析機器開発事業</li><li>○ 大学発ベンチャー創出推進事業</li><li>○ 独創モデル化事業</li></ul> |
| 情報通信開発機構(NICT)        | <ul style="list-style-type: none"><li>○ 民間基盤技術研究開発事業一般枠</li><li>○ 同上 中小企業・ベンチャー独立支援枠</li></ul>  |

年間業務計画を作成し、スケジュール管理をきめ細かく進めていきます。

## TAMA-TLO研究開発支援社員一覧

TAMA-TLOが連携している大学に関しては、担当者が指名されており、各大学の窓口とは常に連絡を取っています。

井深 丹 [ibuka@tama-tlo.com](mailto:ibuka@tama-tlo.com) 042-631-1325 (本社在席)  
社長  
研究開発支援全般、八王子市、三鷹市、担当  
大学は、尚美学園大学、サレジオ高専、担当



中江博之 [nakae@tama-tlo.com](mailto:nakae@tama-tlo.com) 042-631-1325 (本社在席)  
特許化支援事業部長  
特許出願、審査請求、不実施補償、技術移転契約  
大学は、工学院大学、創価大学、明星大学、国士舘大学、  
東京工芸大学、東京薬科大学、中央大学、東洋大学担当



石川宏俊 [ishikawa@tama-tlo.com](mailto:ishikawa@tama-tlo.com) 042-570-7240 (第2オフィス在席)

産学官連携事業部長

地域新生コンソーシアム、大学発マッチングファンドの企画、運営、管理および提案書、申請書提出の時の最終チェックを担当

平成18年7月から西武信金羽村ビル内第2オフィスで青梅クラスターや福生、羽村地域の産学連携支援を行なっています。



山県通昭 [yamagata@tama-tlo.com](mailto:yamagata@tama-tlo.com) 042-644-5101 (第3オフィス在席)

産学連携コーディネータ、MEMSプロトタイプセンター長  
地域新生コンソーシアム[地域ものづくり革新枠]の管理、進行責任者

大学は、首都大学東京、法政大学、成蹊大学、中央大学担当



永井恒夫 [nagai@tama-tlo.com](mailto:nagai@tama-tlo.com) 042-644-5101 (第3オフィス在席)

産学連携コーディネータ、研究開発促進事業事務局  
相模原市、狭山市、担当

大学は、創価大学、青山学院大学、神奈川工科大学、東京工科大学担当

